

石川中央魚市株式会社

○現在実施している又は今後実施予定の取組

- ① 金沢市中央卸売市場の卸売会社として、全国・全世界からあらゆる水産物を仕入れ、同市場の売買参加者に安定供給を実施している。
- ② 産地を石川県に限定し、JFいしかわとの共同事業として、当日早朝に水揚げされた魚介類を①とは異なる時間帯に取引する「朝セリ」を実施。取引された魚介類を「石川の朝とれもん」として、高鮮度な状態で、地産地消の推進と県産魚の全国発信を両立している。
- ③ 金沢おさかな普及協会（会長：辰村剛（当社社長））への参画および金沢市民への魚食普及啓もう活動と定期的な料理教室開催の実施している。
- ④ 水産エコラベルの取得とサステナブル商流の開拓。国際規格であるMEL CoC（2020年取得）、MSC・ASC CoC（2021年取得）し、持続可能な水産流通の拡大に取り組んでいる。
- ⑤ グループ企業の㈱マルストックにおいても、④の認証を取得、さらにJFS-B規格の衛生認証を2020年に取得し、県内量販店のバックヤードとして生鮮水産物の一次加工から最終加工までを行い、高品質の水産商材を365日体制での安定供給を実現している。

取組 URL : www.ishikawa-uoichi.co.jp (石川中央魚市 HP)

: www.asatoremon.jp (石川の朝とれもん HP)



朝セリ写真



朝セリ写真

石川の朝とれもんプロジェクト

弊社とJFいしかわ共同での取組事業として2008年より「朝セリ」を行っています。
 産地の石川県産魚、季節別の20%程度の県産魚の安定供給を実現しています。
 産地直採の新鮮な魚介類を仕入れ、当日早朝に水揚げされた魚介類を①とは異なる時間帯に取引する「朝セリ」を実施。取引された魚介類を「石川の朝とれもん」として、高鮮度な状態で、地産地消の推進と県産魚の全国発信を両立している。



寄付型自動販売機の設置

石川市、舟橋町地区の地下鉄4号線のSDGs推進の取組が促進されることを機に、産地直採の新鮮な魚介類を仕入れ、当日早朝に水揚げされた魚介類を①とは異なる時間帯に取引する「朝セリ」を実施。取引された魚介類を「石川の朝とれもん」として、高鮮度な状態で、地産地消の推進と県産魚の全国発信を両立している。



水産エコラベルの取得

水産物の生産から消費までの全過程において、環境に配慮した生産・加工・流通を実現し、消費者が安心して購入できるように取り組んでいます。2020年より「MSC」の認証を取得し、2021年より「ASC」の認証を取得しました。水産物は環境に配慮した生産・加工・流通を実現し、消費者が安心して購入できるように取り組んでいます。



IMAGINE KANAZAWA 2030への参画

IMAGINE KANAZAWA 2030は、持続可能な未来のまちづくりを推進するための取組です。産地直採の新鮮な魚介類を仕入れ、当日早朝に水揚げされた魚介類を①とは異なる時間帯に取引する「朝セリ」を実施。取引された魚介類を「石川の朝とれもん」として、高鮮度な状態で、地産地消の推進と県産魚の全国発信を両立している。



取組まとめ